

1. はじめに

手術部実習では、以下のことについて特に注意してください。

- 1.1. 感染予防
- 1.2. 個人情報保護
- 1.3. 各種医療スタッフとのコミュニケーション
- 1.4. 患者に対しては常に敬意を持って接すること

2. 感染予防

2.1. 必要性

- ①手術侵襲による感染防御機転の破綻により感染が起こりやすい。
- ②材料として人工医療材料を体内に入れることがあり、感染源になりやすい。
- ③各種要因と患者個々の病態により感染に対する抵抗が落ちていることがある。
- ④針刺し等により、医療従事者ならびに医療系学生が肝炎ウイルス等に感染する危険性がある。

2.2. 手術部に於ける対策

①ゾーンの管理、別紙参照

- ・手術室の出入口を間違えない。事例として、患者搬送用出入口から入る。更衣室で手術衣から自分の白衣に着替えた後で、清潔区域内に戻り、患者搬送用出入口から出たなどがある。
- ・患者搬送用出入口ではなく職員入口から準清潔区域に入る。



職員入口



患者搬送用出入口

- ・手術衣は1日1着のみの利用とする。昼食などで外に出る場合は、着替える際に使用しているロッカー内に入れておき再利用する。



- ・手術衣に着替えた後、前室で帽子、マスク、シュージカバーを付け、清潔区域に入る



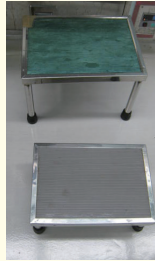
②清潔・不潔の管理

- 手洗い後、清潔手袋着用、滅菌ガウン着用の上でなければ、清潔機器、青色の覆布等に近づかない。
- 見学の学生は、手術台（器械台、滅菌ガウンを着用した術者、看護師、清潔覆布）に近づき過ぎない。
- 手洗い後、清潔手袋着用、滅菌ガウン着用後は、清潔となった手で不潔なもの（帽子やマスクなどの不潔領域を含む）にさわらない。
- 床は不潔です。足台に座らない。
- **手術時手洗をせずに清潔器械台の上で清潔手袋を着用しない。**

青色の覆布



足台



器械台、滅菌ガウンを着用した術者・看護師



③医療系学生自身の感染予防

- **COVID-19 の感染予防**のため手術部での臨床実習では**アイシールドの装着が必須**です。
- **COVID-19 の感染拡大の影響にて、アイシールドの欠品の恐れがあるため、高性能のアイシールド（商品名：ルックユー）についてはガウンを着て術野に入る医師や学生のみが使用し、それ以外の見学の者（学生含む）については通常のゴーグルを使用してください。**
- 高性能アイシールドは手洗い前の場所に設置されており、通常のゴーグルは手術室内に配置されています。

3. 個人情報の保護

- 3.1. 医療系学生として、個人情報保護方針を遵守する。
- 3.2. カルテ・画像のコピーは原則手術部内に持ち込まない、持ち込んだ場合、**忘れないように厳重に管理**する。
- 3.3. 実習に必要な用紙類の持ち込みは必要最小限とし、**患者氏名、患者 ID** など個人情報を書き込まない。

4. コミュニケーション

4.1. 手術部内では、多職種の医療人が、共同で業務を行っています。業務に支障のない範囲で、適宜、自己紹介、あいさつを行ってください。名札を付けて下さい。

4.2. 私語に気をつけて学習してください。特に、PHSの使用は必要最小限にして下さい。

4.3. 滅菌ガウンを着用して手術に入る学生は、手洗いに行く前に、手術が実施される室にいる看護師にその旨を伝えてください。滅菌ガウン・滅菌手袋の準備ならびに着用介助の段取りが必要になります。

なお、滅菌ガウンの着用介助は必ず看護師に行ってもらってください。

5. その他

5.1 貴重品は手術部に持ち込まないか、常に身に付けるようにしてください。なお、学生用ロッカー（ハーフサイズ）は施錠不可としています。ロッカーが不足することがあり、状況により複数名の学生で共用してください。かごを置いておきますので適宜利用してください。フルサイズロッカーは利用しないでください。

5.2. 各種ライン（静脈ライン、動脈ライン）、麻酔器の呼吸回路（蛇菅など）にはできるだけ近づかないか、近づく時には、抜けたり、外れたりしないように注意してください。

5.3. 本などの持ち込みは必要最小限とし、忘れないようにしてください。忘れた場合は手術部受付に来て申し出てください。

5.4. 以上、良く分からない時は学生だけで判断せず、実習担当者を含め、医療スタッフに聞いてください。